

## 関東地方会平成 25 年度事業報告

### I. 平成 25 年度総会・第 261 回例会・第 1 回拡大幹事会

当番幹事：西脇祐司（東邦大学医学部社会医学講座衛生学分野）、開催日：平成 25 年 4 月 20 日（土）

場所：東邦大学大森キャンパス

参加者数：176 名

テーマ「職場で考える健康日本 21（第 2 次）」

「特定健診・特定保健指導：第 2 期の狙いとヘルスリテラシー ～職域の強みを活かしたヘルスプロモーションとの連携」 福田洋（順天堂大学）

「職域フィットネスプログラムとその効果」 絹川千尋（東京ガス株式会社）

「産業保健現場での歯科口腔領域の健康づくりの実際」 高橋潤一（日本テレビ汐留歯科診療所）

「産業医として職場でできる健康づくり」 内田和彦（東京産業保健推進センター）

### II. 第 262 回例会（一泊）・第 57 回見学会・第 2 回幹事会

当番幹事：角田正史（北里大学）、開催日：平成 24 年 9 月 6 日（金）～7 日（土）

場所：[見学会] 株式会社牧野フライス製作所、三菱重工株式会社、株式会社オハラ

[例会] [幹事会] 小田急ホテルセンチュリー相模大野

参加者数：150 名以上、見学会 60 名

テーマ「産業保健における感染症防御の今日的意義」

「インフルエンザ特措法の施行下での産業職場における対応」 三宅邦明（内閣官房インフルエンザ対策室）

「産業保健における風疹対策の重要性」 太田寛（瀬戸病院産婦人科・北里大学医学部公衆衛生学）

「産業保健における肝疾患対策の意義」 渡辺哲（東海大医学部公衆衛生学領域）

### III. 第 263 回例会・第 3 回幹事会

当番幹事：及川孝光（こころとからだの元氣プラザ）、開催日：平成 25 年 11 月 16 日（土）

場所：星陵会館ホール（例会）、会議室（幹事会）

参加者数：251 名

基調講演「どうなるニッポンの産業保健？企業のリスク管理の視点から」藤江俊彦先生（千葉商科大学）

パネルディスカッション「わが国の労働・雇用状況と産業保健」

「産業保健における女性労働者問題」 荒木葉子（荒木労働衛生コンサルタント事務所）

「婦人科がん検診を中心に」 大村峯夫（こころとからだの元氣プラザ）

「高齢者雇用と産業保健の関わり」 舟橋 敦（マツダ株式会社）

「高齢労働者の健康管理（健康状況のリスクアセスメント）」 小川純人（東京大学大学院医学系研究科加齢医学講座老年病科）

「海外勤務者の健康管理」 海渡裕郎（三菱重工業株式会社 横浜健康管理センター）

「障害者雇用の実際－精神障害者雇用対策の強化に向けて」 齋藤友美枝（独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構 東京障害者職業センター）

### IV. 第 264 回例会・第 4 回幹事会

当番幹事：田中茂（十文字学園女子大学）、開催日：平成 25 年 2 月 8 日（土）

場所：十文字学園女子大学（例会）、5 階第 4 講習室（幹事会）

→当日大雪のため、午前に予定していた第 4 回幹事会は出席者が少なかつたため報告事項のみとし、午後に予定していた第 264 回例会は中止とし、6 月 28 日（土）に順延とした。

### 【予定プログラム】

- 教育講演 「精神栄養学 ―精神疾患の新たな治療・予防法としての食事―」  
功刀浩（国立精神・神経医療研究センター神経研究所疾病研究第三部）  
シンポジウム「食生活から心の健康を支援する」  
「食生活から心の健康を支援する」 石田裕美（女子栄養大学）  
「食事と調理からのリワーク支援 個別指導及び集団プログラムの事例から」 野口律奈（帝京  
平成大学）  
「職場における食環境と勤労者の食生活」 赤松利恵（お茶の水女子大学）  
「職場給食に何が求められているか」 佐藤愛香（西洋フード・コンパスグループ株式会社）

## V. 関東産業医部会研修会

- 第 17 回海外勤務者健康管理研修会（主催：海外勤務者健康管理全国協議会、共催：関東産業医  
部会、東京産業保健推進センター）、開催日：平成 25 年 2 月 1 日（土）  
場所：東京医科大学病院 6F 臨床講堂  
講演 「PM2.5 の健康影響と海外勤務者の健康管理」島 正之（兵庫医科大学 公衆衛生学）  
シンポジウム 「海外勤務者の健康管理業務のアウトソーシング」  
「海外勤務者の健康管理のアウトソーシング全体像と現状」加藤 修（ジェイアイ傷害火災保険  
株式会社 営業企画部海外サービス企画課）  
「トラベルクリニックで対応可能な健康管理業務」大越裕文（航仁会 渡航医学センター  
西新橋クリニック）  
「海外赴任者向け電話健康相談の現状から」高橋敏子（保健同人社 電話相談部）

- 関東産業医部会研修会（共催：日本産業衛生学会関東地方会、慈恵医師会、東京都医師会）  
開催日：平成 25 年 3 月 1 日（土）  
場所：東京慈恵会医科大学 二階講堂  
テーマ 「発達障害と就労支援」  
「発達障害の基本理念」松本 英夫（東海大学医学部専門診療学系 精神科学）  
「発達障害者の就労支援（事例より）」福田 真也（あつぎ心療クリニック）  
「発達障害の就労支援（課題など）」岩永 純（独立行政法人 高齢・障害・求職者雇用支援  
機構 東京障害者職業センター）

## VI. 関東産業看護部会研修会

- 関東産業看護部会研修会  
開催日：平成 26 年 2 月 1 日（土）、8 日（土）、場所：東京工科大学 12 号館多目的室  
参加者数：86 名（2 月 1 日）、52 名（2 月 8 日、大雪に見舞われ予定より参加者が減）  
テーマ「産業保健現場で使える認知行動療法」  
2 月 1 日（土）：「飲酒コントロールの実際」 足達淑子（あだち健康行動額研究所）  
2 月 8 日（土）：「睡眠コントロールの実際」 足達淑子（あだち健康行動額研究所）

## VII. 関東産業衛生技術部会研修会

- 第 31 回関東産業衛生技術部会研修会  
開催日：2013 年 9 月 2 日（月）、場所：慶応義塾大学医学部予防校舎講堂  
参加者：55 名  
メインテーマ：統計学の基礎から学ぶ「作業環境評価、個人曝露評価」  
「統計学の基礎から学ぶ作業環境評価・個人曝露評価」熊谷信二（産業医科大学産業保健学部）  
「リアルタイム測定による粉じん職場の改善」村田克（早稲田大学客員研究員）  
「個人曝露測定の実測結果から見えること」山田憲一（中災防・労働衛生調査分析センター）

### 第 32 回関東産業衛生技術部会研修会

開催日：2014 年 1 月 30 日(木)、場所：慶応義塾大学医学部予防校舎講堂

参加者：60 名

メインテーマ：労働衛生保護具の適正使用に向けた技術的な動向について

「労働衛生保護具に関する最近の動向」 田中茂(十文字学園女子大学大学院人間生活学研究科)

「許容濃度の提案理由の活かし方について」 岩澤聡子(慶應義塾大医学部)

「鉛作業場における PAPR の使用例」 浅井実篤(古河電池(株)今市事業所)

「新しいマスク内圧・フィッティングテスター(MNFT)を用いた防護係数測定」 渡邊学(重松製作所)

「フィットテスト研究会の活動について」 飯田裕貴子(労働科学研究所)

「有機ガス用吸収缶の交換時期の推定として有機溶剤の相対破過比(RBT)の活用」 津田洋子(信州大学医学部)

「PAPR の防護係数について」 鶴岡俊之(重松製作所)

### 第 33 回関東産業衛生技術部会研修会(兼第 264 回日本産業衛生学会関東地方会例会)

開催日：平成 26 年 2 月 8 日(土)、場所：十文字学園女子大学 9417 教室

→当日大雪のため、中止とし、6 月 28 日(土)に順延とした。

#### 【予定プログラム】

教育講演 「精神栄養学 —精神疾患の新たな治療・予防法としての食事—

功刀浩(国立精神・神経医療研究センター神経研究所疾病研究第三部)

シンポジウム「食生活から心の健康を支援する」

「食生活から心の健康を支援する」 石田裕美(女子栄養大学)

「食事と調理からのリワーク支援 個別指導及び集団プログラムの事例から」 野口律奈(帝京平成大学)

「職場における食環境と勤労者の食生活」 赤松利恵(お茶の水女子大学)

「職場給食に何が求められているか」 佐藤愛香(西洋フード・コンパスグループ株式会社)

## VIII. 関東産業歯科保健部会

平成 25 年度関東産業歯科保健部会研修会

(平成 25 年度産業歯科保健部会後期研修会合同)

開催日：平成 26 年 2 月 15 日(土曜日)、開催場所：東京医科歯科大学

参加者数：20 名

テーマ：「口腔領域の東洋医学」—産業歯科保健スタッフのための東洋医学の基礎—

【漢方の総論】「口腔疾患での漢方治療」 別部智司(別部歯科医院)

【鍼灸の総論】「口腔疾患への鍼灸治療」 海老原義也先生(鍼灸整骨院 T A I U)

## IX. 関東地方会ニュース編集委員会

関東地方会ニュース第 28 号および第 29 号を発行した。

以上